

平成 26 年 1 月 16 日
210 会議室

平成 26 年第 2 回
立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成26年第2回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成26年1月16日(木)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 2時06分

2 場 所 210会議室

3 出席委員 福 田 一 平

田 中 健 一

平 山 いづみ

伊 藤 憲 春

小 町 邦 彦

署名委員 田 中 健 一

4 説明のため出席した者の職氏名

教育長 小町 邦彦

教育部長 新土 克也

教育総務課長 栗原 寛

学務課長 大石 明生

指導課長 泉澤 太

統括指導主事 宇山 幸宏

特別支援教育課長 亀井寿美子

学校給食課長 江元 哲也

生涯学習推進センター長 浅見 孝男

スポーツ振興課長 五十嵐敏行

図書館長 小宮山克仁

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 大澤 善昭

案 件

1 協議

(1) 小・中学校の卒業式、入学式の告辞（案）について

2 報告

(1) 平成25年度教育委員会定期監査の結果について

3 その他

平成26年第2回立川市教育委員会定例会議事日程

平成26年1月16日

210 会議室

1 協議

(1) 小・中学校の卒業式、入学式の告辞（案）について

2 報告

(1) 平成25年度教育委員会定期監査の結果について

3 その他

◎開会の辞

○福田委員長 ただいまから、平成26年第2回立川市教育委員会定例会を開会いたします。

はじめに、署名委員の指名を行います。署名委員に田中委員、お願いいたします。

○田中委員 はい。承知しました。

○福田委員長 次に、議事内容の確認を行います。本日は、協議1件、報告1件でございます。

その他は議事進行過程で確認いたします。

次に出席者の確認を行います。新土教育部長、お願いいたします。

○新土教育部長 本日の定例会議の出席管理職でございますが、教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、特別支援教育課長、学校給食課長、宇山統括指導主事、生涯学習推進センター長、スポーツ振興課長、図書館長でございます。

◎協 議

(1) 小・中学校の卒業式、入学式の告辞(案)について

○福田委員長 それでは、協議に入ります。

協議(1) 小・中学校の卒業式、入学式の告辞(案)について、協議します。

お手元の資料、小・中学校の卒業式、入学式の告辞をご参照願います。

大石学務課長、説明等お願いいたします。

○大石学務課長 それでは、小学校、中学校の平成25年度卒業式及び平成26年度入学式における教育委員会の告辞につきまして、ご説明申し上げます。

まず、小学校卒業式の告辞(案)でございます。

昨年度は東日本大震災の教訓から、自分の命を守ることの大切さ、一人ひとりの力は弱くても手を取り合うことの大切さを訴えて、小学生が中学生になったときに、地域のリーダーとなって活躍することへの期待を込めた内容といたしましたが、今年度は、昨年秋に行われたスポーツ祭東京2013、東京国体を全校で観戦したことから、真剣なプレーや熱意に対する思いを胸に抱いて、中学校で勉強や部活など新たな挑戦に活かしてほしいという文章にいたしました。

次に、中学校の卒業式の告辞(案)でございます。

昨年度は前年に行われましたロンドンオリンピックで多くの日本人選手が活躍したことから、卒業生もそれぞれ進んだ道の国際舞台で活躍することへの期待を告辞に込めた内容といたしましたが、今年度は、ここで正式に開催が決まりました2020年の東京オリンピック、パラリンピックを取り上げて世界平和と国際交流での役割、また、卒業生自身がこのような機会を捉えながら、広い視野で様々な分野で活躍していただきたいという期待を込めた告辞文案となっております。

続きまして、小学校の入学式の告辞(案)でございます。

昨年度、先生や友達、お世話になる人たちに元気な挨拶をしようという言葉で踏まえて再構成した内容を基本的には引き継いでおりますが、新一年生にやさしく話しかける、分かりやすい言葉を使つての告辞文案としてございます。

最後に、中学校の入学式の告辞（案）でございます。

昨年度は部活動やボランティア活動などに積極的に参加するとともに、防災などの地域活動のリーダーとなることへの期待を込めた内容といたしましたが、今年度は、この部分を体験することの大切さという言葉に替えまして、様々な活動への取組を期待した告辞文案とさせていただきます。

説明は以上でございます。ご協議をよろしくお願ひいたします。

○**福田委員長** ありがとうございます。小・中学校の卒業式、入学式の告辞（案）についての説明を終了いたします。

これより質疑に入りますが、進め方でございますけれども、まず直近の小・中学校の卒業式から入り、その後、入学式に移りたいと考えております。なお、今回だけで終わるものではないと考えておりますので、委員の皆さんの卒直なご意見、ご要望等お願ひ申し上げます。

全体の文脈から見て、表記方法を含めて特段の加筆、修正等ご意見をお願ひいたします。まず、小学校の卒業式からお願ひいたします。

はい、田中委員。

○**田中委員** 先ほど大石学務課長から説明があったことを踏まえて、事務局の方がしっかり作られた告辞文であると思います。その上でなお幾つかご検討いただければということで申し上げたいと思います。

まず最初の1行目ですが、「みなさん」の「みな」は漢字にしてはどうでしょうか。

4行目の卒業証書というところ、できればここには6年間の小学校の全課程を修了したことが入るといいなと思います。その後の「数々の出来事が思い起こされて」とありますけれども、これは「数々の思い出がよみがえって」としてはどうでしょうか。その後の「先生方の教えを受け、友達と考えを伝え合い、学びを深めた学習への取組。」、ここについては「学びを深めた日々の学習」でもいいのかと思っております。その後の「友達や多くの人との関わりの中で」というのでは、友達は文脈から理解できますので、なくてもいいのかと思っています。そのあとの「みなさん」も先ほど申し上げたように漢字に、その後の「確かな力や、他人を思いやるやさしい心」、ここは「確かな力を高め」で区切って、「他人を思いやる」とつなげてはいかがでしょうか。

その後に、「それとともに」とありますが、ここは「そして」に表記を替えてもいいのかと思います。その下の「地域の方々、そして」というところは「さらに」と表記をしてはどうでしょうか。その後中ほどに「励まし続けてくださったことを忘れずにいてください。」とあります。これは「忘れないでください」のほうがいいのかと思います。その次に「そして、ぜひ、「ありがとう」という感謝の気持ちを伝えてください。」とあります。この「そして」は割愛してもいいのかと思います。そこではできれば「そうした人にとって皆さんは宝物だ

ったのです」のほうが身近に感じるのかと思います。あと、「ありがとう」を、ちょうど小学校を卒業してよいよ中学校ですので、「ありがとうございます」という表記にしてはどうでしょうか。

あと、中ほどから左になりますが「みなさん」も漢字で。あとは「迫力あるプレーと熱気を目の辺りにして」とあるのですが、この辺りは「体を鍛え、技を磨き、そしてプレーをするその迫力と熱意を」としてはどうでしょうか。

あと、中ほどから左にまいります「みなさん、四月から」の「みなさん」は漢字で。あと、「行動ができる力を身に付ける」というのは「行動する力」としてはいかがでしょう。あと、「観戦を通して感じた気持ちや高まった意欲を、中学校でも活かしてください。」とありますが、その後の文については「勉強、運動で心身の向上を図り、自身を高め、自分の良さをさらに輝かせていってください」、このような表記にしてはどうかと思います。

あと、後ろから5行目のところの「大切にすることを常に心にとめ、」とありますが、ここは「大切にすること、その志を常に心に抱き」としてはどうかと思います。あと、「最後のお祝いの言葉といたします。」というの、これは告辞文ですので、「告辞といたします。」と、そのようにご検討いただければと思います。

○**福田委員長** 田中委員から、文言の修正及び表記方法等も含めてご提案がございました。

ほか、小学校の卒業式の告辞文に対するご意見またご提案等ございますでしょうか。

はい、平山委員。

○**平山委員** 小学校の告辞文で国体について触れている箇所がありますけれども、「一流のスポーツ選手が競技する様子を観戦し」というところがありますが、6年生は観戦してない学校もありますので、一概にこれはどうなのかなと思いますので、表現をもう少し替えたほうがよろしいのではないのでしょうか。

○**福田委員長** では、その辺の表現の表記方法をまたお考えをお願いしたいと思います。

ほか、伊藤委員、ございますか。

○**伊藤委員** ありません。

○**福田委員長** 小町教育長、いかがですか。

○**小町教育長** 全体の長さも今回ばらつきがございますので、ある程度揃えたいと思います。

今日ご指摘いただいたところはまた事務局のほうで精査させていただきまして、事前にまた案として提示させていただきます。

○**福田委員長** 確認をとりたいのですが、私どものほうからご意見は申し上げるけれども、最終は事務局に一任するという形でいかがですか。

〔「はい」との声あり〕

○**福田委員長** お願いいたします。

次に中学校卒業式の告辞文についての質疑に入りますが、何かご意見ございますか。

田中委員、お願いします。

○**田中委員** 中学校のほうもよくできているんですが、何か所か修正を加えていただけたらと

思います。1つは、前から5行目のところの「確かな力と優しい心」、本市としてのキーワードになるのですが、保護者あるいは生徒には、確かな力という言葉が少し分かりにくいかと思えます。ですから、もう少し分かりやすい表記にはどうかと思えます。

あと、オリンピックのことが出てきていまして、これについては2020年、ちょうど中学校を卒業しますと20歳か21歳になるわけで大人になります。そういう中での、そのときにどのような生き方をしてほしいのか、そういう願いみたいなものを表現してはいかがでしょう。

あと、後ろから5行目になりますが、「スポーツや文化、環境や経済」とあります。環境ということが少し表現が曖昧なので、経済と列記するのであれば、もう少し適切な表現にはどうかということ。

全体を通して検討していただきたいことは、立川市がかけがえのない卒業生にどのような成長を願っているのか、またその思いは何なのか、その内容を卒業生に訳して述べる必要があるのではないかと思えますので、是非またご検討ください。

○福田委員長 ほか、ございますか。

私から、卒業式についてでございますけれども、市長は祝辞でございます。校長先生は式辞でございます。教育委員会は学校設置者としての告辞行為になるわけですね。告辞とは何かということ。これをしっかりとわきまえる必要があると思えます。私はですます調でいいと思えます。

まず、卒業式というのはもちろん学習指導要領の特別活動の儀式的行事の狙いに則って行うそれに対する私どもの告辞になります。卒業をまず祝すという言葉をしっかり入れることと、卒業生に対してはなむけの言葉を贈る必要があります。それは3年間及び義務教育9年間の最後の、立川市の学校で学んだ子どもたちに対する教育委員会としてはなむけの言葉が必要です。それは本市の教育目標が私は入るべきであるというように考えております。

同時に卒業生保護者への御礼と同時に、校長先生含め地域の教育関係者の方々への御礼を含めたものが一つの文脈の中に整理されておればいいと思っております。小学校、中学校との児童・生徒の発達段階の違いはございますので、文言の表記についてはそれぞれの発達段階に応じたものでお願いしたいと思っておりますので、私たちのほうももちろん慎重に考えますけれども、今、田中委員、各委員からあったことを念頭に置かれて作成をお願い申し上げます。

卒業式はこれでいいですか。

〔「はい」との声あり〕

○福田委員長 次に、入学式告辞文に入ります。

小学校入学式につきまして、何かご意見、ご要望等ありましたらお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 小学校の入学式については、前から3行目のところですが、「また、勉強や運動を教えてください先生方」とあります。この辺りはもう少し整理をされてもいいのかなと思っております。ということは、「皆さんの入学、先生方とお兄さん、お姉さんたちがみな楽しみに待

っていました」と、そんなふうにしてはどうかと思っています。

次に、3つのお願いがあるのですが、一つ目は、二つ目は、三つ目はと三つのお願いが出ていますが、この一つ目の次の行を1つ下げてはどうでしょうか。ちょうど上に目一杯きているので、3マス下げたらどうかと思います。それで上げたほうがいいのかと思います。次に三つ目のところですが、「先生や友達、お世話になる人たちに元気なあいさつをしましょう。」とあります。ここは端的に「三つ目は、元気にあいさつをしましょう。」にすると3つのトーンが揃っていくと思うんですね。一つ目は、先生や友達の話、しっかり聞きましょう。二つ目は、友達と仲良くしましょう。三つ目は、元気にあいさつしましょう、そうしていいかどうかと思っています。

あと、この中で、挨拶については、「ありがとう」の気持ちを込めてとありますが、やはり小学生であっても入学する児童であっても、既に幼稚園、保育園ではありがとうございますとかそのような挨拶をしていますので、ありがとうございますではなくて、「ありがとうございます」という気持ちで元気にあいさつができる小学生になってくださいとしてはどうかと思います。あと、ここの挨拶のところでは、お世話になる人たちに、おはようございます、こんにちは、そういうことが表記として入ってもいいのかと思いますので、それもあわせてご検討ください。

真ん中から左のほうですけれども、「学校と家庭、地域が一体となってお子様を見守り、育てていくことが大切です。どうぞご理解とご協力をお願いいたします。」ということ。

後ろから2行目ですけれど、「最後になりましたが、本日入学されました」、これは前のほうの文脈にある程度出ていますので、「最後になりましたが、かけがえのない宝であるお子様の」、そのようにしてはどうでしょうか。それも含めましてご検討ください。

私からは以上です。

- 福田委員長** 田中委員から大きく7点ご要望がございましたが、ご検討をお願いいたします。ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

- 福田委員長** ないようでしたら、中学校の入学式についてはいかがですか。

田中委員、お願いいたします。

- 田中委員** 今、福田委員長からお話があったように、小学校との量の問題、ボリュームをもう少し考えてもいいのかと思います。ちょっと寂しい感じがします。その上で前から4行目の「学力や体力などの確かな力」、この辺りもう少し丁寧に扱ってもいいのかと思います。具体的に書かれていったほうが子どもたちに伝わり、3年間を振り返って思いを強くすると思えます。

そのあとの2行目の「ある学説によると、」というと少し曖昧な感じがしますし、一般的に告辞文の中ではどうなのかということを感じております。

先ほどの卒業式と同じ考えですが、立川市がかけがえのない新入生にどのような成長を願っているのか、また、6年間を終えた子どもたちに願った市の思いは何なのか。その内

容を新入生に分かりやすく述べる必要がある、そのように考えております。またあわせてご検討ください。

○福田委員長 中学校においても、量のことも含めて何点かご指摘がございました。

ほか、ございますか。伊藤委員、お願いします。

○伊藤委員 ギャップという表現が少し気になることがあります。この辺の表現をご検討いただければと思います。

○福田委員長 ほか、平山委員、いかがですか。

○平山委員 ありません。

○福田委員長 私からですが、入学式は具体的に教育委員会として期待をする言葉といいですか、教育委員会として新入生に託す言葉、これがなおかつ具体的に、これが何点かなければ私はならないと思います。同時に、保護者に対する言葉、校長を含めて学校に対する教育委員会からの言葉、その中で本市は学力向上ということを謳っているわけです。これが最大の現在の教育課題になっていますので、第一は学力づくりであるということはこの文言が入る必要があると私は思っています。その他、中学校についてはもちろん小学校の全課程を修了して中学校の入学式に臨んでいるわけでございますので、義務教育最後の3年間をどう過ごしてほしいんだという、充実した学校生活の中で自分をどうつくっていくのか、そういう中での学力づくりと同時に自分づくり、それと心身共に健康をつくるというそういうことをしっかりと訴えたほうが私はいいのではないかと考えております。

皆さんからご意見を伺いましたので、それを踏まえて事務局で最後の調整をお願いします。

それで次回、最終的なものをご提示願うということで委員の皆さん、いかがですか。

〔「結構です」との声あり〕

○福田委員長 それでは、そのようにお願いいたします。

小・中学校の卒業式、入学式の告辞（案）についての協議を終了します。

小・中学校の卒業式、入学式の告辞（案）について、お諮りします。

今申し上げましたように、次回、再度協議をしてということになりましたけれども、ご異議ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○福田委員長 小・中学校の卒業式、入学式の告辞（案）について、は承認されました。

◎報 告

（1）平成25年度教育委員会定期監査の結果について

○福田委員長 次に、報告に入ります。

報告（1）平成25年度教育委員会定期監査の結果についての報告でございます。

お手元の資料、平成25年度教育委員会定期監査の結果について（報告）をご参照願います。

新土教育部長、ご説明等お願いいたします。

○新土教育部長 平成25年度第2回定期監査の結果について、報告いたします。

監査には、決算監査、定期監査、指定管理者監査等がございます。決算監査は前年度の歳入歳出決算額を監査するもので9月議会報告でございます。定期監査につきましては、年に3回、各担当部ごとに実施するものでございまして、概ね4年に1度の割合で監査の対象になります。今回、立川市教育委員会が第2回の定期監査を受けたこととなります。前年度は平成21年度に提出されているところでございます。

資料の2枚目の報告書、1ページでございます。

監査の対象は、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの教育部の事務の執行でございまして、この監査の期間は平成25年10月1日から同年12月25日まででございます。最後にあります歳出予算執行率につきましては、平成25年4月1日から9月30日まででございますので、執行率につきましては様々なバラつきがございますので、ご承知おき下さい。

監査方法につきましては、教育部の事務執行が適正かつ効率的に行われているかどうかについて、監査委員が所管部課から関係資料の提出を求めまして、関係職員の説明を聴取し、監査を実施したところでございます。監査の方法の中で地方自治法第2条第14項及び第15項の規定の趣旨に則りという表現がございますが、これにつきましては、地方自治法につきまして、その事務を処理するに当っては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならないということ、あるいは、常にその組織及び運営の合理化に努めるとともにという規定がございますけれども、その趣旨ということでございます。

監査の結果でございます。平成25年12月25日に監査委員より結果の説明、講評がございました。監査結果でございます。おおむね適正かつ効率的に執行されていると認められるが、一部に改善・検討を要する事項が見受けられまして、以下の指摘がございました。

1ページの1番、歳入予算の執行についてでございます。歳入予算については、歳入に関して3件の指摘がございました。いずれも収納日から10日を経過して払い込まれているということでございます。

続きまして2ページの歳出予算の執行についてでございます。この6件につきましては契約の請書で、相手方の氏名の前段が受注者となりますところ、請負者となっているというものでございます。

また3ページにおいては中段でございますが、郵券・金券等の管理状況についてでございます。これについて3件指摘いただいています。管理簿への記載がされていなかった、あるいは決裁がされていなかったものが見受けられるということでございます。

また、要綱等につきましては、交付金交付要綱の中で、交付決定通知書の日付を記入すべきところ、空欄になっていたということでございます。

指摘を受けましたものにつきましては、改善措置をとっておるところでございます。歳入予算につきましては、会計事務規則で10日以内ということでございますので、これに適正に入れるよう事務処理方法を変更いたしましたところでございます。また、歳出予算についても指摘がございましたが、契約の請書につきましては、請負者になっております請書のフォーマ

ットを受注者に改めるとともに、職員への指導を徹底したところでございます。また、郵券・金券等の管理状況につきましては、指摘事項どおりの記載をしまして決裁事務を適正に執行いたしましたところでございます。

なお、1枚目に記載がありますように、監査結果を参考として措置を講じたときは、監査委員に通知することが規定されています。先ほど言いました改善内容を財務部と協議いたしまして速やかに監査委員に通知をいたしたいと考えてございます。今回の指摘事項は点検を行えば防ぐことができるものと考えております。今後とも事務執行につきましては、丁寧かつ迅速に適正な事務執行に努めます。

以上でございます。

○**福田委員長** ありがとうございます。厳正な監査へのまずお礼を申し上げます。平成25年度第2回定期監査の結果についての報告でございますけれども、ご質問がございましたらお願いします。

田中委員、お願いします。

○**田中委員** 今、新土教育部長から説明があった平成25年度第2回定期監査の結果ですが、4ページに歳入予算執行状況表、これについては一般会計で7課1館の歳入予算執行状況表が出て、5ページには7課1館の歳出予算執行状況表が出ていますが、先ほど幾つか課題があったようですけれども、そういう中で今後、第3回の定期監査があるわけですが、その場合に今後検討する課題みたいなものはありますか。

○**新土教育部長** 今回は10月1日から12月25日までの期間、教育委員会の教育部の監査が行われました。第3回は違う部をやりますので教育委員会はこの第2回で終わりであります。その講評の中で指摘事項としまして、ここに書いてありますが、歳出についてのこういう点を改善なさいという部分が出ておりますので、これにつきましては早急に改善措置を講じております。それが私どもでなくて財務部、財政とか契約がございまして、そこで協議をした上で是正措置をしたということでもあります。おおむね適正に処理されていると監査委員からございますので、今、幾つか出ているのが今回の指摘事項でございます。

○**田中委員** 分かりました。また引き続き適正な執行をお願いしたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○**福田委員長** ほかに、ございますか。伊藤委員。

○**伊藤委員** 数字を拝見して執行率100%というところが何ヵ所かあります。特に交際費、執行状況は100%という、例えば教育費の10番の交際費、100%、これはどういう意味でしょうか。

○**福田委員長** 栗原教育総務課長、お願いします。

○**栗原教育総務課長** 確かにこの資料を見ますと交際費、100%執行ということでございますが、現実にこれは全てこの時期までに交際費が支払われるということではなくて、私どもの資金前渡ということで予算額を一旦それを現金化して、保有して、必要なときにそれで支払うということで、そういったために会計上はこれは100%執行になっているわけでございます。

その中から、例えば教育長がいろいろな会議に出る際に必要分をお渡ししているという形になります。最終的には年度末でももちろん未執行のものもありますので、それは戻すという形をとりまして最終的な年度末に執行率が100ではなくて少ない数字で決算という形にはなりません。見づらくて申し訳ございませんでした。

○**福田委員長** 資金前渡ということですね。未使用であれば戻入をするということですね。

○**栗原教育総務課長** そういうことになります。

○**福田委員長** ほか、ございますか。

私から1つだけ、3ページ7番、郵券・金券等の管理状況でございますけれども、適正な事務処理をされたいということが記載されています。例えば郵券・金券等の管理簿が所属長の決済もない、指定された書式で管理されていないとありましたが、これは今年指摘されたことですか、それとも今までもこういうことがおありになったのでしょうか。

○**新土教育部長** 4年前の資料は私ございませんけれども、4年前と同じような形でできているものもあります。人が替わる中で、きちんとそれが引き継がれていなかったという部分もございますので、それについては今回これは申し訳ございませんので、書式については教育総務課にある書式に則った形を取りたいと思います。記載のないものについては早速記載をしたところでございます。

○**福田委員長** 特に郵券・金券等の管理については、私は極めて透明性も必要だし重要なことであると思いますので、厳正に対応していただきたいと思います。

○**新土教育部長** 担当係長、課長、ちゃんとそれぞれチェックしなければいけませんので、その中でダブルチェックという形をしっかりとっていききたいと思います。

○**福田委員長** お願いいたします。

ほか、ございますでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

○**福田委員長** それでは、平成25年度教育委員会定期監査の結果についての質疑を終了いたします。

○**福田委員長** 次に、その他に入ります。

その他、ございますでしょうか。

〔「ありません」との声あり〕

◎閉会の辞

○**福田委員長** 最後に次回の日程確認を行います。次回、平成26年第3回立川市教育委員会定例会を平成26年2月13日木曜日、午後1時30分より、210会議室にて開催いたします。

以上で、平成26年第2回立川市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後2時06分

署名委員

.....

委員長